

基本理念

めざす図書館像 「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」

めざす図書館像実現に向けた4つの方向性

- 方向性1 「地域や市民に役立つ図書館」
- 方向性2 「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」
- 方向性3 「市民一人ひとりに利用しやすい図書館」
- 方向性4 「自らの変革を進める図書館」

中間見直しに向けて

【見直しの経緯】
「仙台市図書館振興計画 2022」（令和4年3月策定）の計画期間を、関連の深い「仙台市子ども読書活動推進計画 2024（令和6年3月策定）」に合わせ令和4年度～令和10年度の7年間としたことから、中間年度にあたる令和7年度に、上位計画「仙台市教育構想 2021」の進捗や次期構想の策定動向等を踏まえ、見直しを行うもの。

【見直しの概要】
・現行計画の根幹をなす基本理念等（「めざす図書館像」「図書館像実現に向けた4つの方向性」）は踏襲する。
・令和4年度から令和6年度までの3年間の事業の進捗状況・評価等により把握した課題や利用者等のニーズを踏まえ、令和8年度から令和10年度までの3年間に仙台市図書館として推進すべき取組みについて、現行計画の骨子に沿ってまとめ直す。
・現行計画策定後に更新や改正・策定された法律や関連計画のほか、現在の社会情勢等に沿い必要の見直しを行う。

【図書館を取り巻く状況】
・少子高齢社会、人生100年時代の到来 ・ライフスタイルや価値観の多様化 ・高度情報化社会の進展（AIの発展）
・社会活動、コミュニケーションのあり方の変化 ・外国人住民の増加

【現行計画（令和4～6年度）における事業の進捗状況・評価により把握した課題等】
方向性1 ・レファレンスサービスの充実に向けた、多様なデータベースの利用促進
・貴重な所蔵資料の保存と活用を目的とした郷土資料の電子化の推進

方向性2 ・乳幼児と保護者を対象にした絵本を通じたふれあい事業の拡充
・障害のある子どもたちの読書体験のための環境整備（アクセシブルな資料の充実や利用促進、サービスの充実）
・「総合的な探究の時間」「調べ学習」に資する、学校図書館運営にかかる相談支援体制の基盤づくり

方向性3 ・分室とサービススポットのあり方の検討と整理
・読書バリアフリーの観点に立った図書館サービスの推進
・外国人住民の増加に対応した、外国語資料の収集やイベントの実施、多言語による情報発信の充実

方向性4 ・視聴覚資料の収集・保存・提供にかかる今後のあり方の検討
・施設の大規模改修による長期休館を見据えた図書館サービスの維持・提供
・図書館システム（令和10年1月更新予定）の利便性・機能性を高める新システムの導入の検討

【利用者アンケート等により把握した利用者等のニーズ】
・誰もが参加しやすい講座・イベントの開催
・中高生など若い世代が読書に親しむための支援の充実
・電子図書館の機能やコンテンツ数、内容の充実
・様々なサービスの情報提供と効果的な広報活動
・地域に居ながら利用できるサービス（移動図書館、サービススポット、返却ポスト）の充実

・おはなし会など、子ども向けの事業・書籍の充実
・閲覧スペースの拡充、キッズスペースの設置
・分室や移動図書館の蔵書と図書館サービスの充実
・開館時間の延長

今後の施策展開

【重点的に推進する取組み】

- ◆各種データベースやデジタル化した郷土資料の充実などによる人生100年時代を踏まえた市民の多様な学びの支援【方向性1】
- ◆絵本を通じたコミュニケーションを深めるための乳幼児と保護者のふれあい事業の拡充や学校図書館運営支援の推進【方向性2】
- ◆アクセシブルな資料や電子図書館の充実を図り、障害のある方、高齢者、外国人のほか、図書館の利用が困難な方など多様なニーズに対応したサービスの推進【方向性3】
- ◆社会のDX化を踏まえた図書館システムの刷新などによる利用者の利便性の向上と、公共図書館としての安定的なサービスの提供【方向性4】

主な施策

方向性1

地域や市民に役立つ図書館となるために

- (1)生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実
人生100年時代を踏まえた幅広い資料の収集と提供／人と人が交流できる「広場」の形成、活力を生み出す場の提供
- (2)課題解決に取り組む市民の学びをサポート
資料の提供や関係機関との連携事業による市民の課題解決の支援／SDGsの17のゴールを意識した事業の推進／各種データベースの利活用によるレファレンスサービスの充実
- (3)地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献
郷土資料の電子化や電子図書館での提供を含めた地域情報の蓄積・継承・発信／市民や地元事業者等との連携による地域の歴史・魅力の発掘・発信／将来の災害に備えるため、東日本大震災の記録と教訓を後世に伝承
- (4)多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上
「学都仙台」の環境の活用した大学等教育機関との連携／社会教育施設等との連携による新たな学びの創出と市民の生涯学習活動の支援



方向性2

0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

- (1)乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供
妊娠期の親への読書支援の推進／絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくり／子ども関連施設やボランティア団体等の読書活動の支援
- (2)障害のある子どものニーズに応じた図書館サービスを提供
障害のある子どもが利用しやすい資料の収集・提供の拡充と環境の整備／関係機関との連携によるニーズに応じた取組みの推進
- (3)ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援
中高生の主体的な読書活動のサポート、関心を高める事業の充実／SNS等を活用した広報の推進／電子書籍も含めたYAコンテンツの充実
- (4)学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援
読書活動や調べ学習のサポートの推進／オンラインを活用した学校との連携／学校図書館への支援
- (5)家庭・地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくり
家族がともに学び、ふれあう機会づくり／子どもが本に親しみ継続的な読書活動につなげる取組み／子どもの心を育み、居場所となる取組み

方向性3

市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

- (1)どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備
事業者や市民団体等との連携による図書館サービスの研究／移動図書館の安定的な運用／電子図書館などオンラインサービスの推進
- (2)あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進
利用しやすい資料や補助機器を揃えるなど読書バリアフリー化の推進／様々な手法により支援を必要とする人のニーズに応じた図書館サービス利用の補助／図書館サービスが届きにくい層に向けた利用方法の周知と利用促進の取組み／読書バリアフリーの取組みへの理解が広がるような周知・啓発
- (3)ICT環境の進展など社会環境の変化を踏まえたサービスの提供
電子媒体を活用した発信の強化／情報活用促進に向けたサポートの強化



方向性4

自らの変革を進める図書館となるために

- (1)市民の財産としての資料の計画的収集・保存、活用
長期的視野からの資料の収集・保存・活用／電子図書館の運営方針を確立し、特色あるコンテンツづくり
- (2)めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを推進
市民協働事業や広報の促進／市民の学びをサポートする地域人材の育成と活躍の場の提供、市民参加の促進
- (3)図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用
社会のDX化を踏まえ、公共図書館としての安定的なサービスを提供するための課題解決への取組み／費用対効果を踏まえたサービスのあり方の検討、財源創出の手法の研究
- (4)図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営
数値的評価指標による図書館サービスの向上／市民による評価や意見の活用
- (5)図書館職員に求められる資質と専門性の向上
社会環境や課題の変化を捉え、職員の資質と専門性の向上／職員間の知識や技術・経験を伝承し、安定したサービスの提供／マネジメント能力を高め、市民の活動の場を支える職員の育成

